

## ひよこ組

## 年少組

色鮮やかな紫陽花の花とともに、梅雨の時期がやってきました。園の環境にも慣れ、笑顔いっぱいのひよこ組。お名前を呼ぶと、手をあげたり、拍手したりする姿がみられるようになりました。保育室では、棚につかまって「つかまり立ち」や「伝い歩き」、ハイハイやひとり歩きをしたり、身体を動かすことを喜んでいます。お友だちにも関心が出てきて、真似っこをしたり、顔を覗き込んだり、かわいい姿が見られます。

先月から、靴を履いて園庭で遊ぶようになったひよこ組は、保育者と手をつないで園庭の散歩をしています。砂場では砂を握って、感触を楽しんでいます。

季節の変わり目で体調を崩しやすい時期なので、一人ひとりの体調の変化に配慮し、こまめに水分補給をしながら、元気に過ごしていきたいと思えます。

## こあら組

## 年中組

春から夏に向かうこの時期、日差しも強さを増し、子どもたちは額に汗を光らせながら遊んでいます。こあら組は、朝おやつ後、外へ行こうと自ら靴下を履こうとしたり、帽子を被ろうと積極的な姿が見られます。午睡では、すぐに起きていた子ども、たくさん体を動かして遊び、ご飯もしっかり食べ、抱っこやおんぶで寝ていた子どもぐっすり眠れるようになってきました。園庭に出るときには、保育者と手を繋ぎ自分で手すりを持って階段の登り降りをしています。降園の時には、おさまと手を繋いで一緒に降り、頑張る姿を見てあげてください。

今月は外遊び見学会があります。おさまがどのように遊び、何に興味があるのかなど、新たな発見をして頂けたら嬉しいです。

## うさぎ組

## 年長組

爽やかな気候の中、子どもたちは元気いっぱい遊んでいます。気温が高い日は、外遊びの途中で水分補給の時間を設けています。お外でピクニック気分飲むことが嬉しいうさぎ組です。

5月は、いちごの製作をしました。シール貼りや絵の具の指押しで種を表現しました。指押しでは、絵の具が指に触れる感触を味わいながら、慎重に一つひとつ押し子、早くたくさん押ししたい子など様々でした。飾って、皆で完成を喜びました。園庭に鯉のぼりが飾られると、鯉のぼりの下に集まり皆で上を向いて眺める微笑ましい姿が見られました。

6月は梅雨の季節です。雨が降る様子や、カタツムリなどの虫を観察して梅雨の季節を楽しんでいきたいと思えます。

入園して3か月目を迎えました。子どもたちは少しずつ園生活に慣れ、朝の身支度やお便り帳のシール貼りなど、進んで行く様子が見られます。また、友だちや保育者の名前を覚えて、呼ぶ姿も見られるようになりました。

6月は梅雨の自然に触れ、雨降りの様子を楽しみながら過ごします。本物のあじさいを観察し、絵の具を指で押して、あじさいの花を表現します。下旬には笹の葉を飾り、七夕についての由来を知りながら、短冊や七夕飾りにも挑戦します。6月後半よりプール遊びが始まります。水着の着脱や脱いだ服の畳み方など、おさまがプール活動に期待を持てるよう、お家でも保護者の方と一緒に練習してみてください。

季節の変わり目は、体調を崩しやすいため、体調の変化に配慮し、元気に過ごしていきたいと思えます。

晴れたり雨が降ったり、天気が変わりやすい季節になってきました。室内と戸外のどちらでも、元気いっぱい色々な遊びを楽しんでいます。

先日、年中組になって初めての絵の具の活動を行いました。絵の具セットが個人持ちになったことを伝えると、とても喜ぶ姿が見られました。年長組でも使う道具なので、大切に使っていきます。

もうすぐ梅雨入りですね。「梅雨」という季節について知り、製作や歌などの活動を通して、梅雨ならではの生き物や植物に関心もてるようにしていきたいと思えます。また、雨具を使うことが多くなりますので、レインコートの畳み方や傘の閉じ方の再確認をします。自分でできるように援助していきますので、ご家庭でも練習してみてください。

梅雨入りも目前ですね。暑い日が続きますが、子どもたちは室内や戸外に関係なく、元気に過ごしています。成田ゆめ牧場の遠足では、動物と触れ合ったり、芝滑りをしたり夢中になって遊んでいました。また、レジャーシートを広げお弁当を見せ合ったり、会話を楽しみながら食べる姿はとても嬉しそうでした。

先月は、かぼちゃの苗植え、インゲンの種まきを行いました。観察や水やりを行い、芽が出ることを心待ちにしています。成長が楽しみです。

今月は、手賀の丘での宿泊保育があります。友だちとともに過ごすことや、自然体験、夜のお楽しみなど、充実した2日間を作っていきます。

### 《幼児 6月の目標》

5月の目標「挨拶」はいかがでしたか。朝、保護者の方と一緒に挨拶をしたり、促してくださる様子が多く見られ、以前より自分から挨拶をするおさまが増えたように感じます。挨拶は「おはようございます」「さようなら」の他にもたくさんあります。人との大切なコミュニケーションです。引き続き、大人のわたしたちが良い手本となって、挨拶ができるように習慣づけていきましょう。

「雨の時期を楽しむ」 年少：まわりの大人に手伝ってもらいながら、傘をさしたり、レインコートを畳んだりする  
年中：一人でレインコートを畳んだり、傘の開閉、始末ができるようになる  
年長：周囲に注意しながら傘をさして、道路を歩いて登園する

(就学に向けて、少しずつ身につける良い機会です)

通園方法によって傘やレインコートなど使用する雨具が異なると思いますので、使用する機会があった際には、この目標を思い出して取り組んでみてください。年少の方は入園して2か月が経ち、簡単な身の回りの始末がわかってきて、「自分でしよう」とする時期です。はじめは親子一緒に行き、自分でしようとしたときは時間がかかるかもしれませんが、少し見守っててください。

また、雨の多い季節は、季節の変化や自然に興味をもつ良い機会です。天候に関する言葉(晴れ、雨、蒸し暑い、ジメジメなど)や雨の音の言語表現(ポツポツ、ザーザー)にも触れられるといいです。会話の中で取り入れてみてください。